

「～されている」「～された」と言うとき (pp.10-13)

⇒「使う」「書く」「作る」「話す」という言い方を「能動態」といい、「使われる」「書かれる」「作られる」「話される」という言い方を「受動態(受け身)」といいます。

⇒英語で受動態を表すには、「be 動詞 + 過去分詞」を使います。

①規則動詞の過去分詞は、過去形と同じ形です。

②不規則動詞の過去分詞は、過去形と同じ形の場合と、違う形の場合があります。

⇒不規則動詞の変化形については pp.130-131 参照。

This computer	is	used	by students	.
These computers	are	used	by students	.
This table	was	made	by my father	.
Is	English	spoken	in the country	?
Yes, it	is	/	No, it	isn't.
English	is not	spoken	in the country	.

⇒「be 動詞 + 過去分詞」の後には、意味によってさまざまな語句が来ます。

This letter	was	written	by Miku	.	だれによって
This letter	is	written	in English	.	どの言語で
English	is	used	in many countries	.	どこで
English	is	used	for international communication	.	何のために
This pagoda	was	built	in the 7th century	.	いつ
This pagoda	is	made	of wood	.	どんな材料で
This pagoda	is	known	as the oldest wooden building in the world	.	何として

次のような場合は、受動態が好まれます。

①「だれが～するか」ということを言わなくてもよいとき

English and French **are spoken** in Canada.

This computer **was made** in Japan.

②「だれが～するか」ということを強調したいとき

Horyu-ji **is visited** by many people.

Horyu-ji **was built** by skillful carpenters.

次の a) と b) の言い方を比べてみましょう。

a) English **is taught** by Ms. Watanabe. だれが教えているかが重要。

英語は渡辺先生が教えています。

b) Ms. Watanabe **teaches** English. 何を教えているかが重要。

渡辺先生は英語を教えています。

「～を…と呼ぶ」「～を…という状態にする」と言うとき (pp.8-9)

⇒「A を B と呼ぶ」と言うときには「call + A + B」, 「A を B という状態にする」と言うときには「make + A + B」という語順で文を作ります。

My friends	call	me	Hiro	.
This story	made	me	sad	.

⇒この表現は p.30 で学習します。

「何を／だれに／いつ／どこで／どのように～したらいいか」などと言うとき (pp.16-17)

⇒「何を～すればいいか」「どのように～すればいいか」「いつ～すればいいか」「どこで～すればいいか」などの意味は、「疑問詞 + to + 動詞の原形」で表すことができます。

I	don't	know	what to do	.	
Do	you	know	how to make a paper crane	?	
Could	you	show	me	how to spell this word	?
He	told	me	where to go	.	